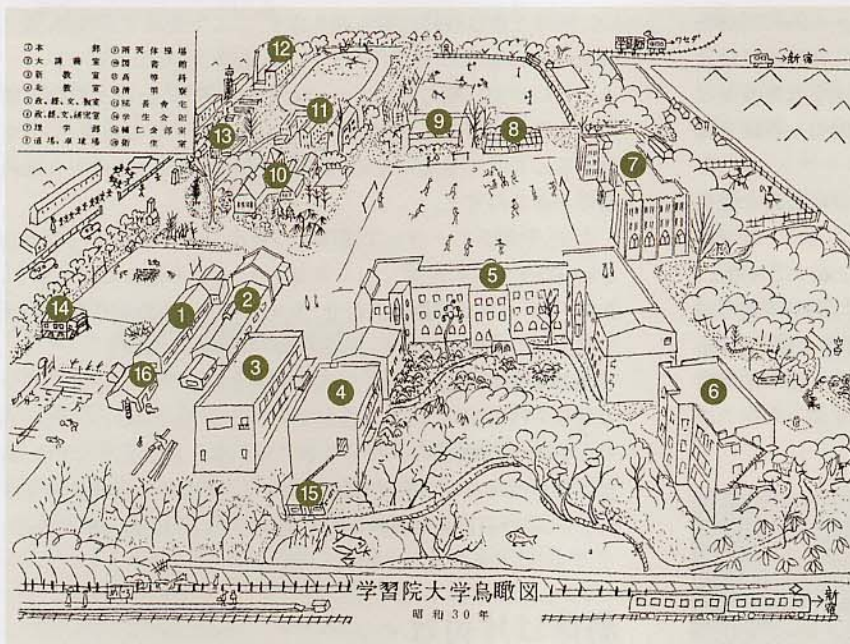


# 変化の予兆 —昭和30年の目白キャンパス図—



●昭和30年キャンパス鳥瞰図  
(キャンパス西側からの図)

- |             |         |
|-------------|---------|
| ① 本部        | ⑧ 雨天体操場 |
| ② 大講義室      | ⑨ 図書館   |
| ③ 新教室       | ⑩ 高等科   |
| ④ 北教室       | ⑪ 清明寮   |
| ⑤ 政、経、文、教室  | ⑫ 院長舎宅  |
| ⑥ 政、経、文、研究室 | ⑬ 学生会館  |
| ⑦ 理学部       | ⑭ 輔仁会部室 |
| ⑧ 道場、卓球場    | ⑮ 衛生室   |

●昭和30年航空写真(キャンパス南側から撮影)



図は、昭和30年(1955)、学生部発行のパンフレットに掲載された目白キャンパス鳥瞰図です。手前左、「めじろ」の駅名看板の近くでは馬をひく姿がみえ、血洗いの池には魚とカエルが描かれています。キャンパス全体に木々が茂り、高層の建物はありません。「のどかなキャンパス」の図です。現在のキャンパスの様子とは大きく異なっているので、昭和30年のキャンパス航空写真を付しておきましょう。写真中央のグラウンド左側が西1号館、下が南1号館です。

昭和22年(1947)3月、学習院は宮内省から離れ、財団法人として新発足しました。財政事情の厳しいなか、昭和24年4月、学習院大学は文政学部と理学部をもって開設され、同年10月には図中②の大講義室が完成しました。

昭和27年、文政学部が政経学部と文学部に改組され、学生数が増加すると、教室確保のため、同年9月に⑥西3号館、10月に④西2号館、昭和30年4月に③西4号館が建築されました。そして、昭和30年代、学部・学科の再編、大学院の拡充が進められ、それにともない昭和38年までに、現在の北1号館、南2号館、中央教室、中央図書館、体育館が次々と完成し、現在のキャンパスの様子に近づいていきます。

時代の変化、大学の組織改編にともない、キャンパスも大きく変わっていきます。「のどかなキャンパス」の図には、間もなくやってくる変化の予兆が秘められているのです。  
(野尻泰弘)

※図・写真は『学習院大学の50年 写真と図録』より転載

## Information

ミュージアム・レター第8号

2008年7月7日発行

〒171-8588

東京都豊島区目白1-5-1

電話 03 (3986) 0221

内線 6569

FAX 03 (5992) 9219

### 第56回学習院大学史料館講座のお知らせ

#### 「近代建築とその変遷」

講師 飯田喜四郎氏(名古屋大学名誉教授・博物館明治村館長)

平成20年7月26日(土) 14:00～

会場 学習院創立百周年記念会館正堂

入場無料・事前申込不要

### 第57回学習院大学史料館講座のお知らせ

#### 「中央教室の思い出」

第1部 記念講演

第2部 上映会「ウルトラセブン第29話 ひとりぼっちの地球人」&満田監督トークショー

平成20年9月13日(土) 14:00～

会場 学習院創立百周年記念会館正堂

入場無料・事前申込不要

Gakushuin University Museum of History

学習院大学史料館

● ホームページもご覧ください

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua>